

## 令和8年度 鳥取県認知症介護実践者研修カリキュラムの概要

別紙 1

	教科名	時間	目的	内容
事前	開講式 オリエンテーション	30分	・研修の概要を知り、心構えと受講の方向性を明確にする。 ・研修の目的、目標を示し、それに沿って研修カリキュラムがどのように組み立てられているかを理解する。	・研修概要の提示(実践者の研修全体) ・研修の目的・ねらいの明確化 ・研修中の心構えと留意点の説明 ・スタッフ紹介 ・資料確認
〔1日目〕	認知症介護実践者研修の理解	60分	認知症ケアを実践する者の役割と研修科目との関係性を踏まえ、研修の概要を把握する。認知症介護の実践者として自己の課題を確認し、研修における学習目標を明確にする。	・認知症介護実践者の役割 ・認知症介護実践者研修の概要 ・課題の明確化
	認知症ケアの理念	150分	認知症の人の理解を踏まえた、認知症の中核症状、行動・心理症状(BPSD)、原因疾患等の正しい理解に基づいて認知症ケア理念の重要性を理解する。	・認知症の人の理解 ・認知症の理解 ・認知症ケアの理念
	生活支援の方法	210分	日常生活・社会生活における中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の意思を尊重し、有する能力に応じた生活の支援を可能とする生活環境づくりやコミュニケーションの実践方法を理解する。	・生活支援の方向性 ・認知症によって起きやすい生活の障害と有する能力 ・日常生活(食事・入浴・排泄・生活管理等)への支援 ・社会生活(活動・交流・就労等)への支援
〔2日目〕	家族介護者の理解と支援方法	90分	介護する家族の支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	・家族介護者の理解 ・家族介護者の心理 ・家族介護者の支援方法
	権利擁護の視点に基づく支援	120分	権利擁護の観点から、認知症の人の意思決定支援の重要性、認知症の人の意思に基づく適切な支援方法を理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	・権利擁護の基本的知識 ・権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束・権利擁護のための具体的な取組み
	行動・心理症状(BPSD)の理解と支援	180分	認知症の行動・心理症状(BPSD)が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	・生活の質の理解 ・行動・心理症状(BPSD)の基本的理解 ・行動・心理症状(BPSD)を緩和するケア方法の理解 ・主な症状を緩和するケアの検討(事例演習)
	現場実践	2週間	職場に戻り、学びを実践で活かし、自身の認知症ケアを振り返る機会をつくる。	
〔3日目〕	学習成果の実践展開と共有 (事前説明を含む)	90分	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所において認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を育てる。	・自施設・事業所における実践の準備 ・自施設・事業所における実践 ・自施設・事業所における実践の報告
	共生社会を推進する 地域資源の理解と展開	150分	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる共生社会の実現を推進するための地域資源の活用の重要性が理解できる。	・共生社会の実現を推進する地域資源と実践者の役割 ・共生社会の実現を推進する地域資源の活用
〔4日目〕	アセスメントとケアの実践の基本	330分	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	・認知症の人のアセスメントの基礎知識 ・観察の方法とポイント ・アセスメントの実践(事例演習) ・実践計画作成の基礎知識 ・実践計画作成の展開(事例演習) ・実践計画の評価
〔5日目〕	職場実習の課題設定	300分	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。	・職場実習のねらい ・対象者選定 ・課題設定 ・4週間の行動計画の作成
	職場実習 (アセスメントとケアの実践)	4週間	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。	・実習の準備 ・実習の開始 ・報告準備
〔6日目〕	職場実習評価 (実習のまとめ)	180分	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。	・職場実習報告 ・ケア実践計画の評価 ・職場への報告と展開